

## 1 基礎研究医プログラムの概要

- 臨床研修と基礎研究を両立するため、令和4年度臨床研修から開始した制度
- 過去直近5年間の研修医の採用実績が平均20人以上の基幹型臨床研修病院である大学病院本院は、都道府県への届出により、基礎医学に意欲がある学生を対象に、「基礎研究医プログラム」の募集が可能
- 一般の募集定員とは別枠の定員を設定し、臨床研修マッチングに先行して選考
- 2年間の基礎研究医プログラムの修了により、通常プログラムと同様、臨床研修修了となる。

## 2 主なプログラム設置要件

- 選択研修期間に、16週以上、24週未満の基礎医学の教室に所属する期間を用意すること。
- 基礎医学研修を開始する前に、臨床研修の到達目標の到達度の評価を行うこと。
- 臨床研修後、4年以内を目処に、作成した基礎医学の論文を、病院の研修管理委員会に提出すること。
- 臨床研修修了後、修了者の到達目標の達成度と臨床研修後の進路を地方厚生局に報告すること。

## 3 プログラム修了後の想定キャリア

プログラム修了後は大学院への所属が望ましいとされている。修了者のその後のキャリアとしては、主に以下のようなものが想定される。

- (例)・大学院生、ポスト・ドクター、助手等として大学に所属し、論文を執筆して学位を取得、その後、教員又は研究員として研究に従事
- ・臨床研修修了後、臨床業務に従事しながら、大学院に所属し論文指導を受ける
  - ・国立の研究機関等に所属、製薬企業に就職、行政機関に就職(厚生労働省医系技官 等)
  - ・病理診断の経験を経て、病理専門医や細胞診専門医を取得

## 4 定員配分

- ✓ 募集定員は、原則1名。
- ✓ ただし、次の基準を全て満たしている場合は最大5名まで、1つ基準を満たしていない場合は最大3名まで希望可能

- ① 基礎系の教室を通じて、基礎医学研究歴7年以上の複数の指導者(医師)が指導できるキャリア支援体制を確保
- ② 魅力あるキャリアパスを複数提示
- ③ 論文指導を行う環境があり、学会発表の機会を用意
- ④ 年間受託している基礎医学分野の科学研究費助成事業と国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)対象事業の予算の合計が8,000万円超
- ⑤ 過去3年間に、基礎医学分野でImpact Factor 15 以上の論文があること

## 5 令和9年度開始プログラムの配分結果

- 令和9年度基礎研究医プログラムの総定員数は、全国で40名。34大学(22都府県)から応募
- 国において、医道審議会医師分科会医師臨床研修部会での議論に基づき、次の①、②、③に沿って配分

- ① 各大学病院に1名ずつ定員を設定する
- ② 残りの定員を科研費等の金額が多い順に1名ずつ設定する
- ③ さらに残りの定員を基礎医学分野で Impact Factor 15 以上の論文の多い順に1名ずつ設定する

### 【都内届出施設の令和9年度プログラム定員配分状況】

施設名	R8 希望数	R8 定員数	R8 応募者数	R8 採用数	R9希望 定員数	定員設定要件	R9配分 定員数
日本医科大学付属病院	5	2	0	0	5	5/5適	1
東京慈恵会医科大学附属病院	5	1	0	0	5	5/5適	1
東京科学大学病院	2	2	1	1	2	5/5適	2
慶應義塾大学病院	2	2	2	1	2	5/5適	2
日本大学医学部附属板橋病院	2	1	2	1	2	4/5適	1
帝京大学医学部附属病院	1	1	1	1	1	3/5適	1
順天堂大学医学部附属順天堂医院	2	2	3	2	3	5/5適	1
計	21	11	9	6	19		9

参考：スケジュール（令和9年度開始プログラム）

